

総合的な学習の時間 「福祉体験『手話について知ろう』」

座間市立相模野小学校



単元（題材）目標

- 共に生きよう～福祉体験を通して～
- ・手話体験を通して聴覚障がい者の生活を学び、自分たちにできることを考える。

（１）実施時期

令和元年10月18日（金）

（２）対象（学年等・人数）

第4学年91名（3クラス）

（３）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第4学年担任 3名

外部講師：座間市内ボランティアサークル「星の会」6名



（４）実施内容

①聞こえない障がいについて

- ・聴覚障がいの特性や日常生活で困っていること、聞こえない人とのコミュニケーションの取り方など、通訳してくれる人を通じてお話していただいた。

②手話体験

- ・手話でのあいさつの仕方や会話、自分の名前の表し方など、一つ一つ丁寧に教えていただき、手話の仕方を学ぶことができた。また、連合音楽会で歌う「お陽さまになって」の曲を手話でどう表すか教えてもらい、曲に合わせて手話をしながら合唱を行った。

（５）成果

- 聴覚障がいの特性やその方が日常生活でどんなことに困っているか理解し、聴覚障がい者の人がよりよい生活をするために手話が必要であるということを感じることができた。

- あいさつの仕方や会話、名前の表し方など楽しみながら活動を行い、手話についての興味を深めることができた。

